

いのち—生、老、病、死を考える— 第2回

i P S細胞の技術は、バラ色の未来だけをもたらしてくれるのか。死ぬ権利が認められたなら、わたしたちは本当に良き死を迎えることができるのか。生、老、病、死をめぐって今話題のテーマをともに考え、深めていきたい。

私たちに死ぬ権利は必要なのか

講師 **川口 有美子** 日本ALS(筋萎縮性側索硬化症)協会理事

治療や保護を受けなければ生きられない人がいる。そしてこの人々は、これらの給付が申請制度や自己選択による決定とされることによって、かえって選べない状況に置かれてしまう。また人は(タイミング悪く)自由や権利を与えられると自死しなければならなくなることもある。さらに、あらかじめ死に方を決めておくと危うい状況に置かれることになる。それは具体的にはどのような場面なのか。宗教はこれらの人々、これらのケースにとってどのような救いとなるのだろうか。社会のなかでもっともらしく通っている言説や常識のもつ危うさについて一緒に考えてみたい。

日時 2013年 7月13日(土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 1,000円、学生500円(コーヒー込み)

*7月10日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。



川口 有美子 Kawaguchi Yumiko

『逝かない身体』(医学書院)で2010年6月第41回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。NPO法人さくら会理事、有限会社ケアサポートモモ代表取締役、日本ALS協会理事。立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程在籍。2013年博士号取得予定。現在の活動として次のものがあげられる。STOP!生活保護基準引下げ 呼びかけ人

<http://nationalminimum.xrea.jp/advocate>

尊厳死法制化を認めない市民の会 呼びかけ人 <http://mitomenai.org/>

KINOKUNIYA BOOKLOG 書評空間 <http://booklog.kinokuniya.co.jp/kawaguchi/>

2013年度 修学院フォーラム

いのち — 生、老、病、死を考える

第3回 10月26日 (土)

「死にゆく人格権 — 自宅で家族に看取られる死が理想なのか? 」

講師 福島 旭 (関西学院中学部宗教主事)

社会 — エネルギーを考える — 原子力発電の根本的問題と我々の選択

第1回 11月30日 (土)

「チェルノブイリと福島から」 (仮)

講師: 山崎 知行 (和歌山県海南市医師)

第2回 2014年1月12日 (日) ~13日 (月・祝)

「社会科学の視点から」 (仮)

講師: 姜 尚中 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)

「聖書の視点から」 (仮) 講師: 上山修平 (日本キリスト教会横浜海岸教会牧師)

福祉 — 重荷を負う人と共に

第1回 9月7日 (土)

「一人一人みんな違っていいーべてるの人たちから学んだ生きる力、暮らし方」

講師: 向谷地 生良 (北海道医療大学看護福祉学部教授、社会福祉法人浦河べてるの家理事)

第2回 2014年2月22日 (土)

「前例がなければつくればいい」 講師: 青野 浩美 (声楽家)

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2013年度 修学院フォーラム「いのち」第2回 参加申込書

(フリガナ)	
名前	所属
住所〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール:	@
通信欄:	